NI IMV	- N	2 17	T	152	7	100 7 7			正開	以作	正院		垂	<b>押/门</b> ′				1水工()
事務		761		事務	橋梁·	長寿命化個	<b>終編事業</b>						担	当		建設部		
コー	- ۴			事業名	11-5214	2013	- n						担	当	謀	土木記	果	
政策	名	1	快適	で魅力	あるまち	5づ(り							グ	ルー	プ	道路約	隹持グ	ループ
施策	名	2	交通	体系の	充実								電	話 番	号	45-51	11	
基本事	業名	1	道路	゙゚゚ネットワ	フークの	構築							内	線番	号	2761、	2762	
	会計	一	般会計					事業		平成	21	年度	~	平成		年月	<del>立</del>	
予	款	8	土木	費				期間		-\17X	21	十尺		-1.1X		+/	Z.	
予 算 科 目	項	2	道路	<b>格梁費</b>	,			+0+602+	^									
目	目	1	道路	<b>格梁維</b>	持費			根拠法*	章 章	節法 貧	第42条	第1項						
	コード	761	1170					71/1/										
関連	計画																	
1.現制	犬把握	(1	)事務	事業の	目的	< Do >												

# 事業開始の理由及び事業の概要 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記) 意見 事業に対する議会から出された意見 意見 事業に対する議会から出された意見 であることにより事業を開始した。 「橋梁の長寿命化を図るための国の施策において市議より、橋梁の点検管理に

寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。 長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉的に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の縮減を図る。

全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命 化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完 て 図るための国の施策 平成19年度第3回(9月)定例会市議会において市議より、橋梁の点検管理に係る一般質問が行われるなど、市民の関心が高まっている。

質問内容は、15m以上の道路橋の数 や耐用年数、点検・管理状況に関するも のであった。

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	<b>結果</b> (どんな結果に結びつけるのか)
	計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を 長寿命化する。	安全・快適に移動ができる
1		

全体計画 ( H 21 ~ )	平成20年度までの・実施状況	平成21年度 実績	平成22年度 計画
橋梁数647橋		橋梁概略点検647橋を実施	詳細点検:健全度が低い、または重要な橋梁について抽出し、詳細な点検を実施する。
平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度以降 計画
・長寿命化修繕計画の策定:計画の 目的、対象橋梁、現状把握及び維 持管理補修方針、点検計画、修繕・ 架け替え計画、事業効果を、計画策 定する。 ・橋梁修繕工事	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。

(2)事業費 単位:千円

	全体計画		
(	H 21 ~	)	
	単独	補助	合計
国		124,932	124,932
県			
地 方 債			
辺 地 債			
過 疎 債			
合併特例債			
その他			
一般財源		118,636	118,636
計		243,568	243,568

			単位:千円
	H 21年度	H 22年度	前年度比較
_	決算 (A)	計画 (B)	(B) - (A)
当初予算額	11,968	24,000	12,032 101% 増
補正予算額			
予 算 合 計	11,968	24,000	12,032 101% 増
国庫補助金	9,132	12,000	2,868 31% 増
県支出金			
地 方 債			
そ の 他			
一般財源	2,836	12,000	9,164 323% 増
支 出 合 計	11,968	24,000	12,032 101% 増
·	_	<u> </u>	<u> </u>

	事業 ド	761170	事 務 事業名	橋梁長寿命化修繕	事業	<b></b>	建設部   土木課					
	- r		尹未行				担当課	<b>二</b>				
2 評	価の部	<see></see>				評価	評	価理由				
		政	策体系と	の整合性		- /tz/0117117	<b>运</b> 河 5 / 5 / 1 . 1 / 5 / 3					
				目的は基本事業の意図(	基	■ 結びついている □ 見直す必要がある	橋梁の劣化・損傷を計画的に補修することで、安 心安全で快適に移動ができることにつながる。					
A E	的妥当	[注		果)に結びつくか?		□ 元旦 9 元安 11 00 0						
	評価		共関与の			<b>-</b>	Lastes della	autro, a follower she sail see to see				
			この事業をた いのか?	さぜ市が行わなければな	:Ġ	<ul><li>■ 妥当である</li><li>—</li></ul>	市道に架かる橋梁の管理は、管理者である市の 務であるので市が行うことが妥当である。					
		٥.		て、達成する目的か?		□ 見直す必要がある	133 (43 0 3 ) (11 ) (					
		目	標達成度									
		_		対して事業は順調に進ん	ับ	■ 順調に進捗している □ 遅れている	計画年度とおりに進捗している。					
D ≠	<b>動性評</b>	-	いるか?			L Æ10C018						
D 1=	まながままれ	<sup>1山</sup> <b>庾</b>	止·休止の	の成果への影響			橋辺長寿命化修繕を図	・ 経止・休止することは、橋梁				
				廃止又は休止した場合に	こど	<ul><li>■ 影響がある</li><li>□ 影響がない</li></ul>	の老朽化が進み膨大な修繕料が必要になり、ま					
			ような影響な				た、通行の安全が図れなくなる。					
		-	業費の削	減余地			-m-t-1	44-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-				
				の適正化等により事業費	む	■ 削減余地がない  □ 削減余地がある	調査に基ついて、コス   実施することから削減会	、縮減を図り補修計画をたて 戻地はない。				
C &	加率性評	削減できないか?										
C X	# I <b>±</b> □ T	<sup>   </sup> 人	.件費(延/	ヾ業務時間)の削減余	地		専門性の高い調査や补	#修計画は委託業務を行				
				そして事務事業に係る業	務	■ 削減余地がない  □ 削減余地がある	い、事業遂行は正規職員で行っているので削減: 地はない。					
			間を削減で			= 133##31 516 45 6						
		-		用負担の適正化余り			市道橋は、不特定の市民が利用することから受					
D 亿	〉平性評			が一部の受益者に偏っ <sup>~</sup> <sup>*</sup> はないか?	て	<ul><li>■ 公平·公正である</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>		氏が利用することがり文金				
	(1)1%	文評価者(	課長)とし	ての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反1	(点)					
総	A 目的	妥当性	■ 適切	□ 見直す必要がある								
	B 有効	性	■ 適切	□ 見直す必要がある	~	の事業は、施策体系に沿って適	切に宝施されている					
括	C 効率	性	■ 適切	□ 見直す必要がある		ショネは、地水ドがに旧って地	931C <del>X</del> /MC40CV 30					
	D 公平	性	■ 適切	□ 見直す必要がある								
2 🙈	後の士	向性 < PL/	AN >									
			今後の方	向性		(2) <b>具体的な改善計画</b> (又)	は廃止・休止すべきとし1	:場合の理由)				
	廃止			D②、有効性④の結果]	-	(-//TIPE/GWAHIA (A)	AUGUL PINE 9 VC C 01					
	休止			D②、有効性④の結果]								
	有効性改			[有効性③④の結果]								
	効率性改	<b>対善(コストi</b>	削減)	[効率⑤⑥の結果]								

[公平性⑦の結果]

□ 公平性改善

評値	面対象年度	平成 21年	F度	事	務事	業 評 値	西 表	<一般用	>				様式1
1	事務事業 コード	76171	0 事	務市道	道·橋梁台	帳整備事業				担担		建設部土木課	
	_ <del></del> 政策名	1		<b>ェロ</b> ↓ 速力あるまり	ちづくり							エ 小味 管理グル・	ープ
	施策名			系の充実						電	話番号	45-511	1
基	本事業名	1	道路ネッ	ットワークの	構築					内	線番号	2763, 2	764
	会計	一般会					事業	□単年月					
	予 款 算 項		土木費	•m ##			期間			(開始年月	<b>き</b> H17	年度~	)
	科		土木管理土木総			45	7.160.7.1	□期間	<b>恨</b> 正传	製料度(	~		)
				<b>労</b> 質			見拠法令・ 条例等	道路法、道	路法族	<b>运行規則</b>			
		10111											
	現状把握	(1)事務	事業の	目的と指標	< Do >								
	手段(事									平成2	21年度実績	<b>主</b> 貝	
ては	道の管理を行 は、市道や橋梁 市有地と民地の	との認定・勇	室止•変更	を行い、その	の後、台帳の	)補正を行う。	台帳を整	ける。 手順とし 備することによ	主まな			かながら、一部 比を完了させ	
									1活動	平成2	22年度計画	国	
									里川		)再編を完了 化を完了させ	~し、道路台i せる。	帳のデジタ
		事務事業の	の活動量	)				単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	認定•変更•孱		[					本		15			(光匹)
_													
1													
ウ													
		推、何を け象にしてレ	いるのか)	対象	指標	<ul><li>3対象の大き表す</li></ul>	きさを <sup>*</sup> 指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	市道(認定・認	思定外)		市道延長				Km		1,568	1,568	1,568	
1	橋梁			橋梁数				橋		660	660	660	
ゥ													
	<b>* * *</b>	対象を		ct: 89	### (@	意図の		₩ <i>(</i> ÷.		20年度	21年度	22年度	23年度
	意図		といのか)	成果	伯傑	達成度を表	長す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	市道・橋梁の	情報が管理	里できる	霧島市道	路台帳再編	計画達成度		%		60	80	100	
1		IJ											
ゥ													
_	<b>4</b> = (}	んな結果	に	1 44		(⑦結果)	の達成度	324 /A		20年度	21年度	22年度	23年度
	<b>結果</b>	結び付け		上位	成果指標		計指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	安全・快適に	移動ができ	る	改良率				%		54.8	54.9	56.0	57.0
1	安全・快適に	移動ができ	る	渋滞箇所	数			箇所		9	9	8	8
(2)	事業費			単位∶千円		事業の環境				"		1	1.
			年度	22年度 (予算)		■務事業は、 ↑けで開始さ				事務事業を は5年前と			
_	当初予算額		<del>算</del> ) 5,200	( <b>J</b> ′异) 23,720	市町合併り	により霧島市	としての台	帳整備が必	特にな			·交100/100	,,,
予算	補正予算額		0	20,120	要になり、	平成17年度。	より開始して	ている。					
額	予算合計		5,200	23,720									
					' <b></b>								
	国庫補助金	Ž	0					いらどんな意		この事務事	業に対す	る議会から	出された
<u>,</u>	県支出金		0			要望が寄せ	216 (618	אוי. נ		意見 			
決算	地方債		0		特になし				特にな	*L			
額	その他		0										
	一般財源	35	5,200										

支出合計

35,200

事系	务事業	761710	事務 事業名	市道・橋梁台	台帳整備事業		担当部建設部					
	ード						担当課土木課					
		<b>24</b> TR		成21年度			22年度 (当初			23年度 (月		
1	報	単位:千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
2	給											
3		. 手 当 等										
4	共	· 」 <del>」                                 </del>										
7	 賃	金										
8	報											
9	旅	費										
10	交	際費										
11	需	用 費										
		耗 品 費										
	燃	料費										
	食	料費										
		刷製本費										
		熱水費										
	修	繕 料										
12	役	務 費										
'2		信運搬費										
	広	告 料										
	手	数料										
	保	険 料										
13	委	託 料	35,20	)	35,200	23,720		23,720	17,000		17,000	
14		料及び賃借料										
15	工事	請 負 費										
16	原	材 料 費										
17		財産購入費										
18		片購 入 費										
19		補助·交付金										
20	扶	助費										
21	貸	付 金										
22		填及び賠償金 :利子・割引料										
24		及び出資金										
25	積	<del>立</del> 金										
26	寄	 附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
		計	35,20	0	35,200	23,720		23,720	17,000		17,000	
		围										
		県										
	地	方 債										
財	辺	地債										
源中	過											
内訳	合	併特例債										
н/ С	<i>z</i> .	<i>→</i> /⊬										
	そ - 1	の 他 般 財 源	35,20	n .	35,200	23,720		23,720	17,000		17,000	
	1	<u>取 別 //尽</u> 計	35,20		35,200	23,720		23,720	17,000		17,000	
		国	30,20	_	00,200	20,120	_	20,120	17,000	_	11,000	
Ť	補助率	- 県										
補	助	基本額										
		初 予 算			35,200 千円		平成 21 年	手度 財源内	訳の「その州	この内訳		
平成		E 予算			20,=00 111	$\dashv$	1 PA L 1		C 02  U	I JA/\		
	第1			第5回								
21	第 2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	\説明		
年	第3			第7回								
度	第4			第8回								
		章 合 計			35,200 千円							
	_		_									

	事務事業 761710 事務 市道·村				梁台帳整(	<b>備事業</b>	担当部建設部担当課土大課					
2 1	評価の語	郭 <see></see>				評価	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
Α	<b>政</b> 第・この (基)	<b>様体系との型</b> の事務事業の 本シートの結	<b>全合性</b> 目的は基本事 果)に結びつく			ついている す必要がある	市道の全	備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、 体像を把握し、機能確保を図れることから、しいては、 適な移動ができることになる。				
目的妥当	・この のか ・税	・? 金を投入して	市が行わなけ; 、達成する目 <b>6</b>		■ 妥当	である す必要がある	市道という「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理の 直務である。					
性評価		<b>泉・意図の妥</b> 象や意図を限	<b>当性</b> と定又は追加す	ナベきか?		である を見直す必要がある を見直す必要がある	安当 じめる。					
В	•成:	<b>果</b> の向上余り 果指標の現状 せることができ	:値をあるべき	水準まで向	(十分	余地はない に成果が出ている) 余地がある	平成22年	度には100%整備できる見込みであり、順調に進んで				
有効性評	・事	務事業を廃止な影響があるが		:場合にどの	■ 影響7			良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保が さる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができな				
価	・目I 外の ・類I り成	的を達成する )手段はないな 似事業との統 果の向上が其	廃合や連携を 明待できるか?	)事務事業以 ・図ることによ	□他に	手段がない 手段がある :合できない □ 連携 :合できる □ 連携		(他に手段がある場合の事務事業名等)				
C 効	•成:		<b>余地</b> 事業費を削減 この適正化、住			余地がない 余地がある	法にある「	要素仕様」であり削減余地はない。				
率性評価	・や! を削 ・成: でき	り方を工夫して  減できないか 果を下げずに ないか?	ゝ? 「職員以外の対	係る業務時間 対応や委託を		余地がない 余地がある		礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の り、削減の余地はない。				
D公平性評価	·事 不么	業の内容が一 \ \ ではないな	<b>負担の適正</b>  -部の受益者に    -  - 	こ偏っていて		公正である す必要がある		能確保の為の基礎資料の台帳を整備することなの はなく、公平・公正である。				
	(1)1%	欠評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	省点)				
維括	B 有 C 効	1的妥当性 5効性 力率性 3.平性	■ 適切 ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必	必要がある	林道から市道への を整理を図ってい	移管・市道 く。	忍定を行いながら、林務水産課・耕地課と連携し農道・ から農道・林道への移管を行い、お互いの管理物件 め、一定の地域に偏らないように配慮する必要がある。				
_		方向性 < PL/		1/4-	<u> </u>	// 2 \ mic i L T	71+4+1-4	F & 녹 니 · 노벨스 ^ 파라				
(1)	<b>評価結</b> :		<b>今後の方向</b> 「日的ジ	<b>性</b> 当性①②、有	が性のの約		くは休止す	けべきとした場合の理由 ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	<ul><li>□ 休业</li><li>□ 目的</li><li>□ 事業</li><li>□ 有効</li></ul>	上 内再設定 美統合·連携 加性改善(成集	[目的妥 [目 [有 <b>【向上</b> ) [有	当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 効性④の結果	効性⑤の約 の結果] t] t]							
	□公平	性改善	[公	平性⑨の結果的な改善計画	<u>[</u> ]							
		な改善計画				し、具体的にどのよう						
	平成22	中度の取組	<b>み</b> 概要及び	期待される対	D.果	平成23年度に	Xリ組むべ	<b>き具体的な内容</b>				

MI 10-17-18-1	••••	1 1-4	7	<u> </u>	973 -	<u> </u>	<del>/\ н</del> і	1,544	- 14	<u>`~=</u> #			NXXX	IMON/	<u> </u>					ハン	
事務事		7611		務 <sub>+地 古</sub> ュ	力美施	≐凸束攵	備事業							担	<u> </u>	当	部	建設部	3		
	۲	7011	事業名	3 18/11/	X普ル	双罡	伸步未							担	<u> </u>	当	課:	土木課	1		
政策	名	1	快適で慰	赴力あるまち	づくり									ク	゚ル	_	プ	道路維	詩グ	ルー	プ
施策	名	2	交通体系	の充実										電	話	番	号 /	45-511	11		
基本事	業名	1	道路ネッ	トワークの	構築									内	線	番	号 2	2761、2	2762		
	会計	一角	股会計																		
科目	款	8	土木費		項	2	道路橋	梁費		目	1	道	路橋梁:	維持費	ŧ		コー	۲	7611	10	

# 1.現**状把握** (1)事務事業の目的 < Do > 単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意 図 (対象をどうしたいのか)	<b>結果</b> (どんな結果に結びつけるのか)
市民市道	集落道路の改修や側溝改修を行うことで移動がし やすくなる。	安全・快適に移動ができる

_				,			
番号	路線名等		平成21年度 実績		平成22年度 計画	完了 予定	備考
号	교까 다 중	区分	実績	区分	計画	予定	r <del>m</del> 5
1	妻屋4号線		工事L=130m			H 21	
		国分	17,860				
2	向花3号線				工事L=90m 委託 用地	H 23	
				国分	30,200		
3	湊9号線				工事L=120m	H 22	
				国分	6,300		
4	宮下~名波線			新規	工事L=140m	H 22	
				国分	5,400		
5							
_							
6							
l_							
7							
-							
8							
9							
$\vdash$				<del>                                     </del>			
10							
10							
<u> </u>	<u> </u>	·	<u> </u>	L ,.	<u> </u>		

	H 21	H 22
国分	1	3
溝辺		
横川		
牧園		
霧島		
隼人		
福山		

<全	体事業	費 >	平成21年度》	夬算(A)	平成22年度	計画(B)	前年度比較(B)-(A)				
事	業	費		17,860		41,900		24,040			
事	務	費		340		774		434			
合		計	1路線	18,200	3路線	42,674	2 路線	24,474			

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金	9,100	19,737	10,637
県 支 出 金			0
地 方 債			0
そ の 他			0
一般財源	9,100	22,937	13,837
合 計	18,200	42,674	24,474

## (2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された意見

地区自治公民館からのまちづくり計画書により要望がある。

緊急車輌の通れない狭小道路の改善について議会で質問がでている。

事務	767	事 務 事業名	地方改善施設整備事	 ≸業		<u>担</u> 担	当 部 建設部 当 課 土木課	
	価の部 <:				評価	12=	評価理由	
	的妥当性	<b>政策体系と</b> ・この事業の 本シートの結	==・・= 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?		結びついている 見直す必要がある		ある狭小道路の改修によ こ移動ができることにつな	
	評価	ないのか? ・税金を投入	なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?		妥当である 見直す必要がある		道路)の改修は、管理者で ので市が行うことが妥当で	
B 有	<b>前効性評価</b>		<b>D成果への影響</b> 廃止又は休止した場合にと があるか?		影響がある 影響がない		改修を廃止・休止するこ。 箇な通行が図れない。	とは、市民
c ÷t	· 女· 从· 范· / 王	事業費の削 ・仕様や工法 削減できない	の適正化等により事業費を	·	削減余地がない 削減余地がある		については、コスト縮減を ら削減余地はない。	と考慮し決
C X/J	率性評価	· ·	<b>ヾ業務時間)の削減余地</b> そして事務事業に係る業務 ぎきないか?	<b>■</b> i	削減余地がない 削減余地がある		設計は委託業務を行い、で行っているので削減余	
D 公	平性評価		#用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?		公平·公正である 見直す必要がある	市道は、不知者は特定で	特定の市民が利用するこ きない。	.とから受益
	(1)1次評	価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体	総括(振り返り、反	省点)		
緒括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>	この事業は	、施策体系に沿ってi	適切に実施されて	いる。	
3 今	後の方向性	< PLAN >						
(1)計	平価結果に	もとづく今後の方	i向性	(2)具体	<b>的な改善計画</b> (又	(は廃止・休止すべ	(きとした場合の理由)	
	廃止 休止 有効性改善 効率性改善	[目的妥当性(	D②、有効性③の結果] D②、有効性③の結果] [有効性③の結果] [効率性④⑤の結果]					

□ 公平性改善

事務事		761	11   ** ***   10 万 18 終終信事辛(公付金)								担担	当当	部課	建設部 土木課
政策名	3	1	快適で魅力あ	快適で魅力あるまちづくり								ルー	プ	道路整備第1·2G
施策名	3	2	交通体系の充	交通体系の充実							電	話 番	号	45-5111
基本事業	€名	1	道路ネットワークの構築								内	線番	号	2771 · 2774
	会計	<b>—</b> ў	股会計											
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費		1	3	幹線市道整備	事	業費	コ・	-ド 761311

単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

日里	切単の利用者・歩行者			-			
番号	路線名等	区分	平成21年度   実績	区分	平成22年度 計画	完了 予定	備考
	住吉東線		用地 8筆 補償 4箇所		用地補償一式	H 25	H21→H22 繰越 94,045千円 用地補償一式
2	(仮称)新川北線	四刀	121,017		橋梁設計 L=285m	H 32	7,072,111,00
3	馬立北原線	継続	改良工事W=10.25m L=109m 38,620	継続	用地補償一式 改良工事 W=10.25mL=130m 26,000	H 26	H21→H22 繰越 24,020千円 用地補償一式
4	泉水~市後柄線	継続霧島	用地 4筆 補償 5箇所 改良工事 L=71m(暫定工事)	継続霧島	用地補償一式 改良工事 W=7m L=73m	H 26	
5	宮迫~梅ノ木線		法面工事 L=160m		法面工事 L=150m	H 22	
6	橋梁長寿命化修繕計画 (橋長 15m未満)			新規	N=50橋 11,700	H 23	道路維持G
7							
8						_	
9							
10							
	14.555	LI:	<u> </u>	LI.	业4主	1	

<地区別>

	H 21	H 22
国分	1	2
溝辺	1	1
横川		
牧園		
霧島	2	2
隼人		
福山		

<全	体事業	費>	平成21年度流	夬算(A)	平成22年度	₹計画(B)	前年度比較(B)-(A)					
事	業	費		255,324		203,000		<b>▲</b> 52,324				
事	務	費		62,400		65,157		2,757				
合		計	4路線	317,724	5路線	268,157	1 路線	<b>▲</b> 49,567				

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金	147,950	117,650	<b>▲</b> 30,300		
県 支 出 金			0		
地 方 債	101,200	78,000	<b>▲</b> 23,200		
そ の 他			0		
一般財源	68,574	72,507	3,933		
合 計	317,724	268,157	<b>▲</b> 49,567		

# (2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

### この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着住吉東線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要 望が寄せられた。

	予事業 761	事 務 事業名	地方道路整備事業(	(交付金)			担 当 部 建設部 担 当 課 土木課
	<b>評価の部 &lt;</b> 5				評価		評価理由
A E	目的妥当性	本シートの結	目的は基本事業の意図(差 果)に結びつくか?	L I	■ 結びついている □ 見直す必要があ		この事業を実施することにより、市民が安全快 適に移動できることにつながる。
	評価	ないのか? ・税金を投入	なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要があっ		公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路 を整備する事は妥当である。
B 有	与効性評価	・事務事業をのような影響を		<u> </u>	■ 影響がある □ 影響がない		市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に なる。
C *	协率性評価	削減できない	の適正化等により事業費をか?	<u>Ľ</u>	■ 削減余地がない □ 削減余地がある		設計段階において、工法の詳細検討を実施し て、よりコスト縮減を図っている。
	刀平注計画	<ul><li>やり方をエラ</li><li>時間を削減て</li></ul>		Ş	■ 削減余地がない □ 削減余地がある		事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 業務は勤務時間内で対応することで人件費の 抑制を行っている。
D ½	公平性評価		<b>貴用負担の適正化余地</b> が一部の受益者に偏って ではないか?		■ 公平·公正である □ 見直す必要があ	-	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。
	(1)1次評	価者(課長)とし	ての評価結果	(2)	全体総括(振り返り	、反省点	
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>				ず、厳しい財政状況の中で事業を進めている えられるよう、早期完成を目指して事業を推進
3 今	後の方向性	< PLAN >	_				
		とづく今後の方	<u></u> 可向性	(2)具	体的な改善計画	(又は廃」	上·休止すべきとした場合の理由)
	] 廃止 ] 休止 ] 有効性改善		D②、有効性③の結果] D②、有効性③の結果] 「有効性③の結果]				

■ 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要

□ 公平性改善

[公平性⑥の結果]

事務	事業	761	事務	地方特定	<b>対</b> 段	敕借事業					担	当	部	建設	部	
]-	- ド	701	<sup>230</sup> 事業名	地刀1寸足.	<b>е</b> и	正備学未					担	当	誄	土土	:課	
政策	名	1	快適で魅力	]あるまちづく	IJ						グ	ルー	- フ	道路	整備第	1 · 2 G
施策	名	2	交通体系の	交通体系の充実								話習	<b>手</b> 号	45-5	5111	
基本事	業名	1	道路ネット	ワークの構築							内	線習	<b>手</b> 号	2771	1 · 2774	
予算	会計	<b>→</b>	般会計													
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費		目	2	道路新設改图	費		コ	<b>−</b> ド	7612	30

単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等		平成21年度		平成22年度 計画	完了	備考
号	<b>西秋百</b> 号	区分	実績	区分		予定	開っ
1	川跡~松木線		改良工事 W=16m L=195m	継続	以及工事 W-10III L-13/III	H 26	
		国分	33,806	国分	45,000		
2	駅前通り線			新規	用地補償一式 改良工事 W=20m L=80m	H 23	
				国分	118,100		
3	高千穂~泉水線				用地補償一式 設計委託 L=300m	H 24	新たな箇所の要望あり
				霧島	7,650		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	<地区別>	縂	<u> </u>	紭	統= 2 新規= 1		

H 21 H 22

国分 2 溝辺 横川 牧園 霧島 1 隼人 福山

<全体事業費>			平成21年度決	·算(A)	平成22年度	:計画(B)	前年度比較	(B)-(A)
事	業	費		33,806		170,750		136,944
事	務	費						0
合		計	1路線	33,806	3路線	170,750	2 路線	136,944

_					
<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金			0		
県 支 出 金	30,400	153,500	123,100		
地 方 債			0		
そ の 他			0		
一般財源	3,406	17,250	13,844		
合 計	33,806	170,750	136,944		

# (2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

### この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着 川跡~松木線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成 の要望が寄せられた。

	事業	761230	事務	地方特定道路整	備事業		担当部建設部
□.	ード		事業名	10/319/C/Z#IE	. 1110 - 5 - 7		担当課土木課
2 評	価の部	< SEE >	>			評価	評価理由
	目的妥当(		政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?		■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快 適に移動できることにつながる。	
	評価	· †	<ul><li>公共関与の妥当性</li><li>・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?</li><li>・税金を投入して、達成する目的か?</li></ul>			■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路 を整備する事は妥当である。
B 有	与効性評 <sup>。</sup>	価・		<b>D成果への影響</b> 廃止又は休止した場合 があるか?	分にど	■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に なる。
c ##	·► <del>·</del> · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 肖	事業費の削 仕様や工法 削減できない	の適正化等により事業	費を	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。
C X	协率性評 <sub>(</sub>		やり方を工具		業務	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 業務は勤務時間内で対応することで人件費の 抑制を行っている。
D 2	公平性評	価 .		を開負担の適正化分が一部の受益者に偏ってはないか?		■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。
	(1)1%	評価者	(課長)とし	ての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点	()
総括	A 目的 B 有効 C 効率 D 公平	性 性	■適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>	<b>5</b>	厳しい財政状況の中、事業の進捗にる るよう、早期完成を目指して事業を推定	苦干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 進する。
3 소	後の方向	1件 < PI	AN>				
			〈今後の方	i向性		<b>(2)具体的な改善計画</b> (又は廃	止・休止すべきとした場合の理由)
	廃止			102、有効性③の結果		(2000	
	休止			D②、有効性③の結果			
	] 有効性改			[有効性③の結果			
	] 効率性改	(善(コスト	`削減)	[効率性④⑤の結果	:]		

□ 公平性改善

									2 12424 AP 11 10 40	., .,					
事務事		761	事 務 事業名	道路維持改	道路維持改良事業						当当		建設土木		
政策	名	1	快適で魅力	快適で魅力あるまちづくり							ルー	- フ	道路	維持グリ	レープ
施策	名	2	交通体系の	交通体系の充実							話習	手 号	45-5	111	
基本事	業名	1	道路ネットワ	フークの構築						内	線習	手 号	2761	2762	
	会計	<u></u> у	般会計												
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁維持	費			ード	76111	1

単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意 図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
	狭小道路の改修や破損の激しい舗装や側溝など の補修を行い移動をしやすくする。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号	四級百子	区分	実績	区分	計画	予定	情ち
1	参宮線	新規	委託	継続	工事L=120m 委託	H25	
		国分	914	国分	16,350		
2	妻屋4号線		用地•補償			H21	
_		国分	2,325				
3	市内地域	新規	案内板設置			H21	
-			1,613				
4	川尻真孝線	新規	工事L=116m			H21	
		隼人	3,917				
5	木之房上野線	継続	工事L=99m	継続	工事L=500m	H22	
		隼人	4,955	隼人	6,000		
6	里道(隼人町姫城)	新規	工事L=148.7m			H21	
		隼人	2,762				
7	里道(隼人町内山田)	新規	工事L=79m			H21	
		隼人	2,919				
8	野久美田清水線		用地		工事L=60m 用地	H24	
		隼人	1,099	隼人	5,600		
9	高江山之口線	新規	委託	継続	工事L=80m 用地	H24	
		隼人	1,260	隼人	8,300		
10	市内地域	継続	隅切(委託•用地補償)	継続	隅切(委託·用地補償)	H21∼	
<b>_</b>	<u> </u>	//h	3,612	Z.IX	2,600		
	<地区別 >	紅	<u> </u>	紅	<u> </u>	j	

H 21 H 22 国分 15 4 7 3

<b>&lt;全体事業費&gt;</b> 事業費		費 >	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
事	業	費	399,265	178,301	<b>▲</b> 220,964		
事	務	費			0		
合		計	399,265	178,301	<b>▲</b> 220,964		

<貝	才源内訳 >		平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国	庫補助:	金	245,550		<b>▲</b> 245,550		
県	支 出 :	金	4,800	4,800	0		
地	方	債			0		
そ	の <i>'</i>	他			0		
_	般 財	源	148,915	173,501	24,586		
合		計	399,265	178,301	<b>▲</b> 220,964		

## (2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

### この事務事業に対する議会から出された意見

自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの 3月議会で狭小道路の改修について質問が出された。 要望がある。

番号	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	区分	実績	区分	計画	予定	PH 9
11	水尻横頭線	新規	工事L=30m			H21	
		溝辺	5,229				
12	上床公園線	新規	工事L=168.5m 委託 用地補償			H21	
		溝辺	4,327				
13	宮川内石井口上牟田線	新規	委託•用地補償	継続	工事L=70m	H25	
13	百州7年八日工十四州	溝辺	4,904	溝辺	6,500	1120	
11	今村~黒葛原線	新規	工事L=140m			H21	
14	7 们 一	横川	8,800			П21	
45	<b>大</b>	新規	工事L=22m			1101	
15	白仁田線	横川	2,451			H21	
	15.164	新規					
16	城山線	横川	1,365			H21	
			委託•用地補償	継続	工事L=50m 用地補償		
17	下植村~下新原線	横川	4,730	横川	4,500	H25	
			工事L=332m	1英/リ	4,500		
18	落水田~万膳線					H21	
$\vdash$		牧園	3,287	<b>◇炒.◆</b> 士	丁申1 -100~		
19	牧園中央線		工事L=60m		工事L=100m	H21∼	
$\vdash$		牧園	2,121	牧園	3,000		
20	牧園中央線		安全施設		安全施設	H21∼	
		牧園	1,344	牧園	1,500		
21	仁田原1号線		工事L=180m			H21	
		霧島	1,113				
22	梅北~神田線		工事L=28m 委託 用地補償			H21	
		霧島	1,854				
23	泉水~永池線	新規	工事L=25m	継続	工事L=50m	H22	
		霧島	1,092	霧島	1,200		
24	中原・法ヶ崎線	新規	委託	継続	工事L=175m 用地補償	H25	
	1 200 100 100 100 100 100 100 100 100 10	霧島	3,103	霧島	13,000		
25	狩川1号線	新規	工事L=50m			H21	
	317.11.3 MX	霧島	2,910			1151	
26	遠見塚2号線	新規	委託			H21	
20		霧島	130			1121	
27	平野線	新規	工事A=22m2 委託	継続	工事L=11m	H22	
21	半野豚	福山	3,045	福山	1,500	H22	
00	<b>宁</b> 超组		工事A=710m2		·	1101	
28	宝瀬線	福山	3,780			H21	
			工事L=125m	継続	工事L=160m		
29	牧之原~十文字線	福山	2,352	福山	3,200	H23	
			委託	継続			
30	土地改良区19号線	福山	2,625	福山	7,000	H23	
				шШ	1,000		
31	大廻裏線					H21	
		福山	2,489	<b>◇炒.◆</b> 士	丁東7-020-0 田和岩灣		
32	前川内~割子田線		委託	継続		H23	
$\vdash$		福山	2,573	福山	11,500		
33	四方田団地2号線	新規	工事L=259m			H21	
<u> </u>		国分	3,360				
34	神宮前1号線		工事L=78m			H21	
_		隼人	683			1	
35	新川口線		工事L=84m			H21	
_		隼人	609				

番	Db //cb /co /co		平成21年度		平成22年度	完了	/# <del>**</del>
番号	路線名等	区分	実績	区分	計画	予定	備考
36	大王~鞍掛線	新規	工事L=27m			H21	
00	八工一场团队	国分	1,470			1121	
27	有下8号線	新規	工事L=16m			H21	
31	作 1.0 夕 MX	国分	662			П21	
	710 B 11 W		工事L=28m			*****	
38	石坂~黒岩線	牧園	1,155			H21	
		新規					
39	敷根海岸通り線	国分	182			H21	
		新規					
40	御里〜梅ケ谷線	国分	2,025			H21	
		新規					1100 - 45 +4
41	道場口~剣之宇都線		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			H22	H22〜繰越 26,448千円
		国分	53,708				
42	梅ヶ谷~萩之元線		工事L=1,799m			H22	H22〜繰越 11,975千円
		国分	27,925				,, , ,
43	福島~広瀬線	新規				H21	
_		国分	15,015				
44	上之段~口輪野線		工事L=663m			H21	
_		国分	4,200				
45	国分地区交通安全施設	新規	工事L=90m			H21	
		国分	945				
46	論地立岩線	新規	工事L=400m			H21	
	HIIII. C> C 1/14	溝辺	3,801			1121	
17	溝辺地区交通安全施設	新規	工事L=1,390m			H21	
47	<b>再</b> 应地区又远 <b>女</b> 主他队	溝辺	2,489			1121	
10	鍋ヶ迫~崎山線	新規	工事L=300 m			H21	
40	<b>婀尔坦~岬山</b> 豚	横川	3,990			H21	
		新規	工事L=316m			****	H22へ繰越
49	下植村~水窪線	横川				H22	17,000千円
	Henry and Alter		工事L=12,400m				
50	横川地区交通安全施設	横川	5,723			H21	
		新規					
51	坪湯原線	牧園	6,353			H21	
			工事L=13,067m	$\Box$			
52	牧園地区交通安全施設	新規 牧園				H21	
$\vdash$			6,930	+			
53	狩川1号線	新規				H21	
<del> </del>		霧島	6,111				
54	霧島交通安全施設		工事L=6,038m			H21	
<u> </u>		霧島	5,078				
55	宮内松山線	新規				H21	
$\vdash$		隼人	14,553	$\vdash$			
56	下平小鹿野線		工事L=355m			H21	
_		隼人	7,350				
57	隼人地区交通安全施設		工事L=7,107m			H21	
<u> </u>		国分	3,518				
58	城山線	新規	工事L=510m			H21	
Ĺ		福山	4,830				
59	福山地区交通安全施設	新規	工事L=2,045m			H21	
	, и о — /	福山	1,460				
60	大廻中央線	新規	委託			H21	
50	/ \^□   / \/\/\	福山	8,190			1141	
<b>—</b>		щЩ	0,130				

番	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号	四級有守	区分	実績	区分	計画	予定	開行
61	東郷宮内線	新規	工事L=117 m			H22	H22〜繰越
		隼人	6,000				
62	下井~湊2号線	新規	工事L=500 m			H22	H22〜繰越
		国分	3,200				
63	上之段~塚脇線	新規	工事L=400m			H22	H22〜繰越
		国分	5,000				
64	田方見次線	新規	工事L=80m			H22	H22〜繰越
		隼人	1,000				
65	北原石原3号線	新規	工事L=100m			H22	H22〜繰越
		溝辺	2,500				
66	桑迫向田線		工事L=250m			H22	H22へ繰越
		溝辺	2,000				
67	馬場迫線		工事L=60m			H22	H22へ繰越
		横川	3,500				
68	中野~内之野線	新規	工事L=400m			H22	H22へ繰越
		牧園	2,300				
69	轟木~健崎線		工事L=200m			H22	H22へ繰越
		牧園	3,000				
70	塩浸線他		工事L=20m 委託			H22	H22へ繰越
		牧園	10,000				
71	橋口4号線	新規	工事L=80m			H22	H22へ繰越
		霧島	2,000				
72	梅ノ木~北永野田線	新規	工事L=45m			H22	H22〜繰越
		霧島	2,000				
73	磯新堀線	新規	工事L=530m			H22	H22へ繰越
		福山	4,600				
74	小廻一本松線		工事L=200m			H22	H22へ繰越
		福山	1,900				
75	高日山線				委託	H25	
				国分			
76	郡田線				委託	H23	
				国分			
77	清水7号				工事L=60m	H22	
				国分			
78	里上線				L=90m	H22	
				隼人	4,000		
79	宮内小田線				工事L=170m	H22	
				隼人	4,000		
80	津曲藤熊線				L=130m 用地	H22	
$\vdash$				<b>集人</b>			
81	参宮線				委託	H24	
				<b>集人</b>	1,350		
82	姫城線				工事L=130m	H22	
				集人			
83	嘉例川中道線				工事L=20m	H22	
$\vdash$				集人	3,241		
84	高畑線				工事L=60m	H23	
				<b>集人</b>	5,000		
85	久保山大内田線				工事L=140m 委託 用地	H22	
		<u> </u>		溝辺	9,550		

番号	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号		区分	実績	区分	計画	予定	1佣1号
86	高速側道山上線			新規	工事L=100m 委託 用地補償	H22	
				溝辺	9,100		
87	鍋ケ迫崎山線			新規	L=70m	H22	
				横川	2,600		
88	山ケ野木浦線			新規	工事L=610m	H22	
	1 1 2 1 4 1 11004			横川	4,800		
89	二牟礼岩穴線			新規	工事L=600m	H22	
				横川	6,000	1122	
90	横瀬~荒田橋線			新規	補償	H22	
	7121 / 114/4/			牧園	1,300		
91	石坂•黒岩線			新規	工事L=15m	H22	
				牧園	3,000	1122	
92	<b>批杷首線</b>			新規	工事L=86m	H22	
				牧園	2,000		
93	七又線			新規	委託•用地	H22	
				牧園	200	1106	
Q./	川原~日の出線			新規	工事L=60m	H22	
34	/п/// п «У Ш///к			牧園	2,500	1122	
95	栗川~八丁線			新規	工事L=200m	H22	
55	<b>米川 八山</b>			牧園	2,300	1122	
06	川原田~本池線			新規	委託 用地補償	H22	
90	川赤山。本他脉			霧島	3,900	1122	
07	磯新堀線			新規	工事3箇所 用地補償	H22	
97	(9交表) ·/出版			福山	4,910	П22	
98							
90							
99							
99							
100							
100							
101							
101							
400							
102							
400							
103							
404							
104							
405							
105							
400							
106							
107							
108							
109							
110							
_	ı			<u> </u>	1	<u> </u>	

	8事業 ード	761111	事 務事業名	道路維持改良事業				担当部 建設部 担当課 土木課
	ア価の部	<see></see>		I	Г	評価		評価理由
	目的妥当(	• · ·	<b>女策体系と</b> この事業の	<b>の整合性</b> 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?		■ 結びついている □ 見直す必要がある		市道の改修や補修を行うことで、市民が安全・ 快適に移動ができることにつながる。
	評価	<b>1</b>	さいのか?	<b>妥当性</b> なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要がある		市道の改修・補修は、管理者でる市の事務であるので市が行うことが妥当である。
В 7	有効性評価	価・		<b>D成果への影響</b> 廃止又は休止した場合にと があるか?	9	■ 影響がある □ 影響がない		市道の改修・補修を廃止・休止することは、市 民の安全・快適な通行が図れない。
C *	<del>ऽ</del> त्रज्ञक्क	• ·	■業費の削 仕様や工法 川減できない	の適正化等により事業費を	•	■ 削減余地がない □ 削減余地がある		改修や補修の工法はコスト縮減を考慮し決定 することから削減余地はない。
Cx	効率性評(		•	<b>ヾ業務時間)の削減余地</b> たして事務事業に係る業務 ぎきないか?	1	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	:	高度な測量設計は、委託業務を行い、業務遂 行を正規職員で行っているので削減余地はな い。
D 2	公平性評价	価 .	事業の内容	間用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?		■ 公平·公正である □ 見直す必要がある		市道は、不特定の市民が利用することから受益 者は特定できない。
	(1)1 <b>%</b>	評価者	(課長)とし	ての評価結果	(2)	全体総括(振り返り、	反省点	)
維括	A 目的: B 有効' C 効率' D 公平'	性 性	■ 適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>	この事	<b>5業は、施策体系に沿っ</b>	って適切に	実施されている。
3 4	後の方向	]性 <pl< th=""><th>.AN&gt;</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	.AN>					
			〈今後の方	<b>前向性</b>	(2).	具体的な改善計画	(又は廃」	止・休止すべきとした場合の理由)
	] 廃止 ] 休止 ] 有効性改 ] 効率性改	[] 【善	目的妥当性(	D②、有効性③の結果] D②、有効性③の結果] [有効性③の結果] [対率性④の結果]				

□ 公平性改善

評価対象	年度	平成 2	21年度	[	事務	事	業	評	価	表	<一般用>					様式1
事務事		761	112	事務	道路約	住持管	車	[業				担	当			建設部
コー	۲	701	112	事業名	<b>是</b> 四 n	(年) カド	3/ <del>1</del> 7	*				担	当	討	果土	二木課
政策:	名	1	快i	適で魅力	あるまちっ	づくり						グ	ル	- 7	プ道	直路維持グループ
施策:	名	2	交ì	通体系の	充実							電	話	番号	를	45-5111
基本事	業名	1	道路	各ネットワ	ークの構	築						内	線	番 号	랅	2761, 2762
	会計	一点	设会計	•					_	= 114	□ 単年度のみ					
予	款	8	土	木費						事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 <sup>9</sup>	丰度	Ŧ	S 2	27	年度~)
算 科	項	2	道距	烙橋梁費						נייוני	□ 期間限定複数年度	(			~	)
目	目	1	道置	格橋梁維:	持費					L法令·	道路法					
	コード	761	112						条	:例等	坦昭仏					
問事	一															

		会計	一般会計	+				□単年月	度のみ	ļ			
	予	款	8 土	木費			事業期間	■単年月	度繰返	(開始年月	₹ S 27	年度~	)
	算 科	項	2 道	路橋粱	2.費		- 光川山	□ 期間降	限定複	数年度(	~		)
	11 <sup>1</sup>	目	1 道	路橋粱	2維持費		根拠法令·	道路法					
		コード	761112				条例等	坦路伝					
	関連計	一画											
1.	現状抵	巴握 (	1)事務事	業の目	目的と指標	< Do >							
	手段	(事務	事業の概要	톤)						平成2	21年度実績	Į	
霧島	島市全場	或の市道	の維持管理	のため	、清掃や修	繕・改修を行う事業。				<ul><li>修繕工事</li></ul>			
主な	よ業務内	内容は次	のとおり。			,,,		14172277		・草払い委託			
	巾追のM にり把握	伯役や側	<b>苒闭墨、雜</b>	早等に	より見通しの	悪い箇所などを通常	「巡回や、利用	者からの週報	土	•街路樹管	理委託		
	見場状? 実施要?								な活	平成2	2年度計画	ī	
41	<b>関係機関</b>	関と協議							動	1 122	- 1 2 1 1		
		と と と終了後	<ul><li>委託の発</li><li>の絵本</li></ul>	注						・修繕工事			
<b>※</b> F	常的に	こ住民が		活道路	については	、清掃等を周辺地域	の自治会に協	力して行って		<ul><li>・草払い委託</li><li>・街路樹管</li></ul>	_		
もら	ってい	<b>る</b> 。											
	活動	<b>省標</b> (事	孫事業の活	舌動量)				単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	当安姑	分/女。/用心基	<b>上</b> 作 修 善 管 所 数	ilr				箇所		524	(天順) 474	(死区)	(兄 <u>人)</u> 474
<i>y</i>	坦姆州	110 1则佣	110階面別	×.				直 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月		324	4/4	4/4	4/4
1	藪払い	延長						km		782	634	795	795
ゥ													
	<u> </u>	(誰、	、何を			(3対象の)	大きさを	224 (4		20年度	21年度	22年度	23年度
	対		象にしている	うのか)	対象:		長す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	市道利	用者及	び周辺住民	i	市内人口			人		127,450	127,662	128,640	128,868
1	雲皀市	「内の市)	 省		市内の市泊	首延長		km		1,569	1,573	1,573	1,573
	799 LLU 11	11.1051117	ш		1111 1051117	已是 <b>以</b>		KIII		1,000	1,010	1,010	1,010
ウ													
	意	対	象を	(2.1	成果	指標 (⑤意図の	*. 丰 - <b>- 1</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位		20年度	21年度	22年度	23年度
ア	安全で	・快適なi	どうしたい 通行が図られ		対応率(修	達成及 :繕・改修箇所数/修約	を表す指標) 善・改修が必	0/		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
<i>y</i>			態に保たれ		要と判断さ	れた箇所数)		%		83	76	76	76
1			"		市道利用	者、周辺住民からのき	<b>吉情件数</b>	件		1,047	1,341	1,341	1,341
ゥ													
		<b>_</b> (ル)	んな結果に		1.0	<b></b> (⑦結	果の達成度			20年度	21年度	22年度	23年度
	結り		結び付ける	のか)	上位		表す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	安全•	快適に移	動ができる		改良率			%		54.8	54.9	56.0	57.0
1			<i>II</i>		渋滞箇所	<i>\</i> { <i>t</i>		箇所		9	9	8	8
	真美						乳奈亦(ル・)			3	3	0	0
( 2	) <del>- 5</del> 53.	Α.	21年		単位:千円 22年度	(3)事務事業のま				事務事業を	取1)券/瑨	<b>培け 閉</b> 療	₩₩₩₩
			(決算		22年辰 (予算)	きっかけで開始				ずがず来で は5年前と			
予	当初	予算額	227,7	11	219,622	昭和27年の道路法 並びに維持管理が				)老朽化と交 等の不具合か			
算	補正	予算額		0		並 のに推発して	川町竹の義笏	となった。	会によ	り地域住民	で行っていた	だいていた	藪払いが
額	予算·	 合計	227,7	11	219,622					よい地域が増 いとの要望も			
	3 77	HH1	221,1		210,022				76	(での女主)	一十八日加し	( C C ( "J)	
	国庫	補助金		0		この事務事業	に対して誰か	いらどんな意		この事務事	業に対する	 3議会から	出された
	県支	出金		0		見や要望が寄				意見			
決算	地方	 債		0		市道の維持修繕は				度9月議会で			
算額	その			0		域住民にも多大な影対応が求められてい		に、早急な		会で草払いな ごのように考え			
台共		財源	227,7			住民からの苦情や弱	要望の内容とし		, , , , ,			55 C N 0/10	
	川又	ᄴᆘᄺ	441,1	TT		い」「側溝改修」「道」	四部表の無修	」が多い。	1				

支出合計

227,711

	多事業	761112	事務事業名	直路維持管:					担当部		
	ード					<del></del>		n = 5 5 \	担当課		<b></b>
		単位∶千円	単独	成21年度 補助	(决算) 合計	坐放 単独	22年度 (当初 補助	リ予算) 合計	単独	23年度 (月 補助	<b>己込</b> ) 合計
1	報	CII·如 <del>羊</del> Mi	干红	竹田山		十九	刊刊		干红	THIAN	
2	給	料									
3		1 手 当 等									
4	共	済 費									
7	賃	金	6,886	3	6,886	7,106		7,106	7,106		7,106
8	報	償 費									
9	旅	費									
10	交	際費	400.00	_	400.00=			100.001			100.001
11	需	用費	132,267		132,267	122,824		122,824	122,824		122,824
	消燃	耗品費料費	2,981		2,981 108	2,300		2,300 196	2,300 196		2,300 196
	食	料費	100	)	100	190		190	190		190
		刷製本費									
		熱水費									
	修	繕 料	129,178	3	129,178	120,328		120,328	120,328		120,328
						<u> </u>					
12	役	務 費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手	数料									
10	保	険 料	74.000	`	54.000	00.001		00.001	00.001		00.001
13	委	託 料 科及び賃借料	74,669		74,669	80,381		80,381	80,381		80,381
14 15		請負費	2,534	ł	2,534	2,511		2,511	2,511		2,511
16		<u> </u>	8,296	3	8,296	6,800		6,800	6,800		6,800
17		財産購入費	3,059		3,059	0,000		0,000	0,000		0,000
18		場 入 費	3,000		3,000						
19		補助·交付金									
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金									
23		利子·割引料									
24		及び出資金									
25	積 安	立     金									
26 27	寄公	<u>PN                                   </u>									
28	 繰	出金									
	NAK.	計	227,711		227,711	219,622		219,622	219,622		219,622
		国									
		県									
	地_	方 債									
財	辺	地債									
源内	過										
訳	百	併特例債									
,	そ	の他									
			227,711		227,711	219,622		219,622	219,622		219,622
	,	<u>計</u>	227,711	_	227,711	219,622		219,622	219,622		219,622
<b>—</b> ,	ᆂᄜᅑ	国									
1	補助率	県									
補		基本額									
平		初 予 算		4	227,711 千円	[	平成 21 年	F度 財源内	訳の「その他	』の内訳	
成		E 予算									
21	第1			第5回			<b>☆</b> ↓n <b>=</b> ^~	の事業ウザ	n+ 4 ~ 112 '	\ ±×□□	
	第 2			第6回		—	参加費等	の事業実施の	かにめの以/	\就明	
年度	第3			第7回							
		<u>四</u> 第一合 計			227,711 千円						
	]′ -	# 🗆 🗊		4	221,111 下闩						

	务事業 ∣ード	761112	事 務 事業名	道路維持	管理事業			<u>担当 部 建設部</u> 担当 課 土木課				
2 1	変価の草	那 <see></see>				評価		評価理由				
		で				нтіш						
A	(基	本シートの結	目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつ □ 見直す		3	市道の修	繕や草払いを行うことで、道路 できる。	の利用者が安全・快適		
目的妥	・このか	<i>i</i> 5	市が行わなけ		■ 妥当で		z		持管理は道路法に基づき管理 )安全を確保するという点から妥			
当性			、達成する目的	<b>勺か?</b>			າ ຈ					
評	及以	象・意図の妥	:3性		■適切で			市道を安	全に通行できるようにするための	の事業であり 対象音		
価	·対	象や意図を限	限定又は追加す	~べきか?	□ 対象を	見直す必	要がある		近切である。	フサ来での八八次心		
					□ 意図を	見直す必	要がある					
В	・成 上さ	ざせることができ	犬値をあるべき; きるか?			⇒地はないに成果がと	出ている)	草払いの費の確保	化により年々修繕の個所が増え 要望も増えている。また、修繕に も難しく、現状としては、修繕に すことは難しい状況である。	斗や草払い委託料の経		
有効性な	•事		<b>!果への影響</b> :又は休止した か?		■ 影響か				も身近な生活道路である市道の は、円滑な車輌通行の妨げと			
評価	•目	的を達成する	<b>充廃合・連携(</b> ためには、この		■ 他に手	巨段がない			(他に手段がある場合の	)事務事業名等)		
	・類 り成	果の向上が期	廃合や連携を 明待できるか?	図ることによ		■段がある 合できない 合できる	\ □ 連携 □ 連携		市道の維持管理をする事業	で、他に手段はない。		
C 効	·成		<b>余地</b> 二事業費を削減 よの適正化、住		■ 削減分	⇒地がない			化が進む中、道路の補修や、『 々増加している。このような状況 い。			
率性評価	・や を削 ・成	り方を工夫して 削減できないか	接務時間)の間 て事務事業に位い? 職員以外の対	系る業務時間	■ 削減余地がない  □ 削減余地がある			維持管理 望処理や	草払いや修繕については、委託 を継続的に行っている。職員は 現場での状況判断、また、専門 対応する業務が多く、人件費を	は、住民からの苦情・要 目的知識をようする工法		
D公平性評価	·事 不么	業の内容が一 公平ではないた	<b>負担の適正</b> -部の受益者に か? A平公正になっ	に偏っていて	■ 公平・・	公正である		トロールな	の苦情・要望は地域によって偏 とども含め要否を判断しているた 道路管理は、受益者負担を求	とめに、公平性は保た		
	(1)1%	欠評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体	総括(振	り返り、反	(省点)			
総	ΑE	目的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	が要がある							
	B有	<b>剪</b> 効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	道路の約	推持管理は	は、市民が多	そ全で快適な通行を図るための	事業であるので、今後		
括	C 対	加率性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	も市道の	保全に努	めなけれは	だならない。			
	D 4	√平性	■適切	□ 見直す必	タ要がある							
2 4		方向性 < PL/										
			今後の方向	性		(	2)廃止5	ては休止す	「べきとした場合の理由			
( )	□ 廃山 □ 休山	Ł	[目的妥	当性①②、有 当性①②、有 当性①②、有		吉果]	- / !!	CIOPILE A	W C C O (C W C) V C C			
		的再設定 ***	= :	的妥当性①③	· · · · · · -							
		Ě統合·連携 ★## 75 第 ℓ # F		効性⑥の結果								
			<b>早向上</b> ) [有] <b>、卜削減</b> ) [効									
		产性以普(コス P性改善		平性①のの結果 平性⑨の結果								
			⇒(3) 具体的		_							
	-70 17	THE 3 3 ME NOT	. (3) / (1)	7 3 9 4 1 1 1 1								
(3)	具体的	な改善計画		(1)のチェック	項目に対し	、具体的	にどのよう	に取り組む	かか			
	平成22	年度の取組	み概要及び						き具体的な内容			

					_				9 1945445H100	**				
事務事		761	913 事 務 事業名	道路新設改	良事	業				担担	当当		建設部土木課	
政策	名	1	快適で魅力	あるまちづくり						グ	ルー	- ブ	道路整備第1.	2 G
施策	名	2	交通体系の	)充実						電	話 番	号号	45-5111	
基本事	業名	1	道路ネットワ	フークの構築						内	線番	号	2771 · 2774	
	会計	—ў	般会計										•	
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路新設改良	き費		ı.	ード 761213	

単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号	西級百号	区分	実績	区分	計画	予定	備っち
1	天降川東通り線		用地補償 設計委託 W=10.25m L=140m 改良工事 L=320m(暫定工事)	継続	用地補償一式 改良工事 W=10.25m L=200m	H 24	
		国分	50,801	国分	49,300		
2	府中21号線			継続	用地補償一式 改良工事 W=9.75m L=40m	H 22	H21は、用地難航の ため休止
				国分	23,750		
3	山下~名波線	新規	設計委託 L=530m 改良工事 W=13m L=150m		改良工事 W=13m L=130m	H 23	
		国分	15,068	国分	19,950		
4	広瀬~野口線他5路線	継続	改良工事 W=8.5~12m L=1,382m	継続	用地補償一式	H 23	
		国分	121,277	国分	58,500		
5	天降川東通り2号線	継続	改良工事 (排水工 路体) W=9.75m L=90m			H 28	H22はH21の補正 改良工事L=41m
		国分	57,375				28,500千円
6	清水~国分線			新規	用地補償一式 設計委託 L=90m	H 24	
				国分	14,400		
7	宮内松山線		改良工事 W=5m L=105m			H 24	H22はH21の補正 改良工事L=100m
		隼人	15,925				8,075千円
8	鳥ヶ池線	継続	設計委託 : 踏切拡幅 改良工事 W=5m L=95m	継続	用地補償一式 改良工事 W=5m L=100m	H 24	
		隼人	8,090	隼人	6,780		
9	豊丸線	継続	改良工事 W=5m L=53m	継続	用地補償一式 改良工事 W=5m L=83m	H 22	
		隼人	7,213	隼人	10,470		
10	宮内山口線			継続	改良工事 W=5m L=150m 26,860	H 26	H21は、他事業との 調整のため休止
$\vdash$	<u>│</u> <地区別>	幺	<u>                                     </u>				
	~心区別 ~	ñĽ	ENVL TO MINT - I	旅	THUL O WINT O		

H 21 H 22 国分 5 溝辺 1 横川 牧園 3 霧島 1

5

1

隼人

福山

<全	体事業	費>	平成21年度決	₹算(A)	平成22年原	度計画(B)	前年度比	較(B)-(A)
事	業	費		469,353		257,770		<b>▲</b> 211,583
事	務	費						0
合		計	20路線	469,353	12路線	257,770	▲ 8 路線	<b>▲</b> 211,583

1	
5	
1	

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金	65,300	8,977	<b>▲</b> 56,323
県 支 出 金	75,700	52,800	<b>▲</b> 22,900
地 方 債	196,000	185,700	<b>▲</b> 10,300
そ の 他			0
一般財源	132,353	10,293	<b>▲</b> 122,060
合 計	469,353	257,770	<b>▲</b> 211,583

## (2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

### この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着 清水~国分線、東郷宮内線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着 工、早期完成の要望が寄せられた。

号     四級 1号     区分     実績     区分     計画     予定     18 号       11     東郷宮内線     第規     実施設計     L=109m     H 23       12     小浜海岸線     4年人     3,060     H 26       13     落水田~万膳線     2,835     数園     立木・用地補償一式 改良工事 W=6.5m L=150m 改良工事 W=6.5m L=150m 改良工事 W=6.5m L=150m 公改良工事 W=6.5m L=200m     H 24       14     宝瀬線     2,835     牧園     H 25       14     宝瀬線     14 生瀬線     H 25     H 25       15     立岩糸走線     日 14 性 改良工事 W=7m L=294m 公良工事 W=7m L=294m 公良工事 W=7m L=294m 公良工事 W=7m L=69.2m 日 公良工事 W=8.75m L=69.2m 日 公良工事 W=8.75m L=69.2m 日 公良工事 W=4m L=75m 日 24.3m 日 24.3m 日 24.3m 日 25.3m 日 24.3m 日 24.3m 日 24.3m 日 24.3m 日 25.3m 日 24.3m 日 25.3m 日 24.3m 日 24.3m 日 24.3m 日 25.3m 日 25.3m 日 24.3m 日 25.3m 日 24.3m 日 25.3m 日 24.3m 日 25.3m	番			平成21年度		平成22年度	完了	備考
1   1   2   2   2   2   2   2   2   2	号	始級 <b>台</b> 寺	区分	実績	区分		予定	佣专
1	11	東郷宮内線			新規	実施設計 L=109m	H 23	
12 中央		707-11 707			隼人	3,060	11.20	
13   表次日 - 万郎娘   25   天変後計   We-5.5m   L-800m   25   25   25   25   25   25   25   2	10	小汽海出纳			新規	実施設計 L=600m	11.00	
20   24年間	12	<b>小供供戶</b> 隊			隼人	5,400	П 20	
2.835   交換		The Land State of the Land Sta	継続	実施設計 W=6.5m L=800m	1	立木・用地補償一式		
14	13	洛水田~万膳緑					H 24	
1				設計委託 W=6.5~7.0m		用地補償一式		
15	14	宝瀬線					H 25	
15 立等条奏線   15   15   15   15   15   15   15   1					倫川	8,550		H22はH21の補正
16   国施・府中線   製成   改及工事 W=8.75m L=9.2m   18.429   17   及東中央線   製版   改及工事 W=Im L=75m   18.613   11   23   12   12   12   12   12	15	立岩糸走線		改良工事 W=7m L=294m			H 24	改良工事L=310m
15   15   15   15   15   15   15   15				•				40,350千円
17   長海中央線	16	福島~府中線		改良工事 W=8.75m L=69.2m			H 21	
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本			国分					
集長   11-23   12-24-3.7 m   11-24   12-24-3.7 m   1	17	長浜中央線	継続	用地 1筆 改良工事 W=4m L=75m			H 21	
18   下帳村へ水窪線   18,613   18,613   19   14   18,613   19   18,614   19   18,614   19   18,614   19   18,614   19   19   19   19   19   19   19		2001200	隼人					
数照	10	下拉杜。水窪绡	継続	改良工事 W=5m L=243.7m			11 00	H22予算は、維持修繕
19	10	「但们」「八注版	牧園	18,613			П 43	エ争く対応 L=65m 17,000千円
19   三本生で総合際   21,833   112     20   戸崎〜東多羅線   総総   接続   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   28,816   29   20   1,538   28   28   29   20   20   20   20   20   20   20			継続	改良工事 W=5m L=91m				
But	19	二体堂~浅谷緑					H 21	
T				補償 3件				
21 天隆川線     推統 用地       22 川跡~有下線     概略設計 W=14m L=1,000m       23 辻~中台線     既略設計 W=12m L=1,010m       24 鎮守尾~上之原線     概略設計 W=9.75m L=270m       25 新川上線     概略設計 W=6m L=76m       4 核路設計 W=6m L=76m     H 24 報路設計       26     4 核路設計 W=6m L=76m       27     4 核路設計       28     4 (2)       29     4 (2)       30     4 (2)       31     4 (2)       32     4 (2)       33     4 (2)       34     4 (2)	20	戸崎~東多羅線					H 21	
国分								
22 川跡~有下線     概略設計 W=14m L=1,000m     機略設計       23 注~中台線     概略設計 W=12m L=1,010m     機略設計       24 鎮守尾~上之原線     概略設計 W=9.75m L=270m     機略設計       25 新川上線     概略設計 W=6m L=76m     H 24 機略設計       26     4     630       27     28       29     30       31     32       33     34	21	天降川線						
国分			国分	·				
国分	22	川跡~有下線		概略設計 W=14m L=1,000m				概略設計
国分			国分	1,207				
国分	23	<b>计</b> ~中台線		概略設計 W=12m L=1,010m				概略設計
国分		7	国分	1,417				No. C. B. C. L.
国分	24	<b>結学民。 トラ</b> 原始		概略設計 W=9.75m L=270m				加加女子儿子儿
一日 25 新川上線   一根 24 概略設計 W=6m L=76m	24	<b>製り尾で工</b> 之原脉	国分	1,365				19九世61又百1
1		. ا ا ا معلم						lum m fr ⇒tt. ⇒ l
26	25	新川上禄 	隹人				H 24	<b>概略</b> 設計
27       28       29       30       31       32       33       34			77					
28       29       30       31       32       33       34	26							
28       29       30       31       32       33       34								
29       30       31       32       33       34	27							
29       30       31       32       33       34								
30 31 32 33 34	28							
30 31 32 33 34								
30 31 32 33 34	29							
31       32       33       34								
31       32       33       34	30							
32       33       34	30							<u>                                       </u>
32       33       34	<b>6</b> 4							
33	31						1	
33								
34	32				-			
34								
	33						1	
					-			
35	34							
35								
	35							

事務	· 事業 7/	34040 事 務	`************************************			担当部建設部
□.	- F / '	51213 事業名	道路新設改良事業			担 当 課 土木課
2 ≢⊑	価の部	SEE >		評価		評価理由
2 AT		政策体系との	の整合性	піщ		미岬셛ഥ
AE	目的妥当性	・この事業の目本シートの結り	 目的は基本事業の意図(基果)に結びつくか?	■ 結びついてい □ 見直す必要か		の事業を実施することにより、市民が安全快 iに移動できることにつながる。
	評価	ないのか?	<b>妥当性</b> せず市が行わなければなら して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要か		路整備は、市の義務であり、通行車両・歩行 の安全を確保する観点からも妥当である。
B 有	<b>与</b> 効性評価	・事務事業を原	)成果への影響 発止又は休止した場合にと	■ 影響がある	0)	民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に
		のような影響が			な	る。
		削減できない	の適正化等により事業費を	 ■ 削減余地がな □ 削減余地があ		計段階において、工法の詳細検討を実施し、よりコスト縮減を図っている。
C Ø	<b>协率性評</b> 価	<ul><li>・やり方を工夫</li><li>時間を削減で</li></ul>		【 ■ 削減余地がな □ 削減余地がな	い 5 <b>る</b> 業	業に関しては最低限の職員数で担当してい。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 務は勤務時間内で対応することで人件費の制を行っている。
D 2	公平性評価		₹用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って はないか?	■ 公平・公正でる □ 見直す必要が	ある。	路整備は公共性が高く、不特定多数の人が  用することから、公平性は保たれる。また、受  者負担は求めていない。
	(1)1次記	平価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り)	返り、反省点)	
総括	A 目的妥 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切 ■ 適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>	厳しい財政状況の中、事 るよう、早期完成を目指し		Fの遅れを感じるが、市民の要望に応えられ する。
3 4	後の方向	生 <plan></plan>				
		もとづく今後の方	向性	(2)具体的な改善計	■ (又は廃止	・休止すべきとした場合の理由)
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(	
	休止		②、有効性③の結果]			
	有効性改善	<b>=</b>	[有効性③の結果]			
	] 効率性改善	害(コスト削減)	[効率性④⑤の結果]			

□ 公平性改善

_							1 <u> </u>	,,, .,	
	事務事		761	<sub>220</sub> 事務;		2敕借重業		担当	部建設部
	コー	ド	701.	<sup>220</sup> 事業名 <sup>8</sup>	2.6001米运站	正備爭未		担当	課土木課
	政策	名	1	快適で魅力ある	るまちづくり			グルー	プ 道路整備第1·2G
	施策	名	2	交通体系の充	実			電話番	号 45-5111
	基本事	業名	1	道路ネットワー	・クの構築			内 線 番	号 2771·2774
	予算	会計	<u></u>	般会計					
	科目	款	8	土木費	項	2 道路橋梁費	目 2 道路新設改	良費	コード 761220

単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号	四級百子	区分	実績	区分	計画	予定	m <sup>-5</sup>
1	口輪野~永迫線	継続	用地 筆 補償 件 橋梁上部工 W=10.5mL=51m		取付道路 L=270m	H 26	H21→H22 繰越 134,100千円
		国分	199,936	国分	36,000		用地補償一式
2	持松線		改良工事 W=7m L=268m		改良工事 W=7m L=180m	H 23	
		牧園	39,415	牧園	36,000		
3	真方~臼崎線		改良工事 W=7m L=430m		改良工事 W=7m L=320m	H 22	
		牧園	78,238	牧園	33,500		
4	永池~狩川線		舗装工事 W=6m L=442m		設計委託 L=260m 改良工事 L=130m	H 26	
		霧島	23,960	霧島	5,000		
5	狭名田~水流山線	継続	設計委託 W=6.5m L=160m		用地補償一式 工事(暫定) W=6.5mL=100m	H 24	
		霧島	2,520	霧島	27,000		
6	大窪~笹之段線		改良工事 W=6.5m L=167m		用地補償 委託 改良工事 L=40m	H 26	
		霧島	10,000	霧島	22,700		
7							
8							
ľ						1	
9							
9							
10							
	<地区別>	縂	送続 = 6 新規 = 0	縂	±続 = 6 新規 = 0		•

H 21 H 22 国分 1

溝辺 横川 牧園 2 2 霧島 3 3 隼人 福山

<全体事業費>			平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事	業	費	354,069	160,200	▲ 193,869
事	務	費			0
合		計	6路線 354,069	6路線 160,200	193,869

_			
<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県 支 出 金			0
地 方 債	353,900	155,200	<b>▲</b> 198,700
そ の 他			0
一般財源	169	5,000	4,831
合 計	354,069	160,200	<b>▲</b> 193,869

## (2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

### この事務事業に対する議会から出された意見

要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の 口輪野~永迫線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せ られた。

	予事業 7 ード 7	61220	事 務事業名	辺地対策道路整備事	業		担当部建設部担当課土木課
2 評	ア価の部	<see></see>				評価	評価理由
A E	A 目的妥当性 評価			<b>の整合性</b> 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?		■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快適に移動できることにつながる。
			いのか?	<b>妥当性</b> なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路 を整備する事は妥当である。
B 有	<b>与</b> 効性評価	į .		<b>D成果への影響</b> 廃止又は休止した場合にと があるか?	>	■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
	. <del> </del>	• 1 肖	<b>耳葉費の削</b> 仕様や工法  減できない	の適正化等により事業費を	,	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。
C Ø	C 効率性評価		人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?			■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 2	公平性評価	j •	事業の内容	<b>費用負担の適正化余地</b> が一部の受益者に偏って ではないか?		■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。
	(1)1次	評価者(	(課長)とし	ての評価結果	( 2	)全体総括(振り返り、反省	(点)
総括	A 目的妥 B 有効性 C 効率性 D 公平性	E	■ 適切 ■ 適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>		い財政状況の中、事業の進捗 、早期完成を目指して事業を	まに若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 推進する。
3 今	後の方向	性 <pl< td=""><td>AN&gt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td></pl<>	AN>				
(1)	評価結果	こもとづ	〈今後の方	向性	(2)	<b>具体的な改善計画</b> (又に	は廃止・休止すべきとした場合の理由)
	] 廃止 ] 休止 ] 有効性改 ] 効率性改	[目 <b>善</b>	目的妥当性(	D②、有効性③の結果] D②、有効性③の結果] [有効性③の結果] [効率性④⑤の結果]			

□ 公平性改善

評価対象	年度	平成 2	1年度	事務事	業 評	価 表	<一般用	>				様式1
事務事		761	410 事 務 事業名	河川維持管	理事業				担当担当		建設部	
				7.1-1- 1120								0
政策		1	快適で魅力は						グルー		河川港湾グル	/ーフ
施策	名	4	防災対策の持	<b>隹進</b>					電話番	香号	45-5111	
基本事	業名	2	災害危険箇所	近の整備					内線番	昏号	2781, 2782	
	会計	一舶	0会計			+ N/	□ 単年度	<b>を</b> のみ				
予 算 科	款	8	土木費			事業 期間	■ 単年度	[繰返 (開始	年度	H 19	年度~)	
算 科	項	3	河川費			701-0	□ 期間限	定複数年度	(	~	)	
目	目	1	河川管理費			根拠法令·						
	コード	761	410			条例等						
関連計	画											
1.現状批	1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <do></do>											
手段	<b>手 段</b> (事務事業の概要) 平成21年度実績											
河川は、 用河川65	手段(事務事業の概要) 河川は、上流の水を速やかに下流に流す必要があることから、市が管理する河川(準用河川65本、普通河川99本)の堤防陥没・浸食等、小規模な被災箇所の修繕補修や余草など日常管理を行う。  「大きなどのではます。」  「八はこれを実施。 にいる ではます ではます ではます できます とき											

#### 年度へ繰越) 活 平成22年度計画 既設護岸や堤防の維持管理や補修・修繕等 を行う。 20年度 21年度 22年度 23年度 活動指標(事務事業の活動量) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) 工事箇所 箇所 4 ゥ 20年度 21年度 22年度 23年度 (誰、何を (③対象の大きさを 対象指標 単位 対 対象にしているのか) 表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) ア維持補修の必要な河川 維持補修の必要な河川の数 箇所 4 1 4 1 ゥ 20年度 21年度 22年度 23年度 (⑤意図の 意 図 成果指標 単位 どうしたいのか) 達成度を表す指標) (実績) (見込) (見込) (実績) 安全安心で、快適な生活ができる 対応率(修繕箇所/修繕が必要と判断された 100 % 100 67 100 ようにする。 箇所数) ウ 20年度 21年度 22年度 23年度 (どんな結果に (⑦結果の達成度 結 果 上位成果指標 単位 結び付けるのか) を表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合 安全性が確保される % 31.0 31.1 32.0 32.5=工事進捗率(砂防関係) 1 (2)事業費 単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業は、いつ頃、どのような 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 21年度 22年度 きっかけで開始されたのか? は5年前と比べてどう変わったのか? (決算) (予算) 公共土木施設災害復旧事業に該当しない小 豪雨、台風等により被害状況は異なるが、局部的な 当初予算額 9,700 3,505 予 規模な被災箇所の復旧、及び、堤防の維持補 集中豪雨などが発生し易く、また、護岸施設の経年劣 修及び除草を行うことで、安全性の確保を図る 補正予算額 化等により小規模な堤防の陥没・吸い出し、路肩の決 算 14,200 目的で平成19年度より開始した。 壊など増える傾向にある。 額 予算合計 3,505 23,900

国庫補助金 11,450 この事務事業に対して誰からどんな意 この事務事業に対する議会から出された 見や要望が寄せられているか? 意見 県支出金 0 市民から、被災箇所を小規模な被災の段階で 住民の生活に密接に関係しているため、早めの対応 地方債 0 復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害防止を (補修・修繕等)を求められている。 算 その他 0 図るために、早急な整備が求められている。 額 -般財源 12,409

支出合計

23,859

	务事業	761410	事務河事業名	川維持管理	 事業				担当部		
	ード					<del></del>	20左南 ()(/	· 체코였	担当課		`
		単位∶千円	単独	21年度 (決 補助	(异) 合計	<u>平风</u> 単独	22年度 (当 補助	例予昇)   合計	半 り 単独	23年度 (見込 補助	<u>s)</u> 合計
1	報	CII·如 <del>丰</del> M	半红	門切		十江	刊刊		平7年	刊印	
2	給	料									
3											
4	共	済 費									
7	賃	金									
8	報	償 費									
9	旅	費						5	92		92
10	交	際費									
11	需	用費	2,476		2,476				2,500		2,500
	消										
	燃金	料費									
	食口	料費刷製本費									
		熱水費									
	修		2,476		2,476				2,500		2,500
	1'5	ma 171	2,110		2,110				2,000		2,000
12	役	務費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手										
	保	険 料									
13	委	託 料				1,500	_	1,500	2,000		2,000
14		料及び賃借料	983		983	2,000		2,000	2,500		2,500
15		請負費	6,200	14,200	20,400				2,000		2,000
16		材料費									
17		財産購入費品 購入費									
18 19		は 購入費 :補助・交付金									
20	扶	助費									
21	貸										
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>									
23		:利子·割引料									
24	投資	及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出金	0.050	14.000	00.050	0.505		0.505	0.000		0.000
		計	9,659	14,200	23,859	3,505		3,505	9,092		9,092
				11,450	11,450						
	地	<del>怎</del> 方  債									
п+	辺										
財源	過										
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他									
	— ;	般 財 源	9,659	2,750	12,409	3,505	_	3,505	9,092		9,092
		計	9,659	14,200	23,859	3,505		3,505	9,092		9,092
*	補助率	国		1/1.2401							
		県		14.000							
補		基本額		14,200	0.806		<del>,</del>		±0.0 / 2 = //	. o1-40	
平		初 予 算			9,700 千円		平成 21	年度 財源内	訳の「その他	りの内訳	
成		正 予 算			4,200 千円						
21	第1		7 000	第5回 第6回 (:	3月) 7	7 200	<b>分</b> 加建位	等の事業実施	のため の lln '	λ ≜ἄ□□	
年	第2		7,000	第7回	O/1/	7,200	<b>沙川買</b>	テい争耒夫他の	いいにめりりり以入	(記)	
度	第 4			第8回							
		算合計			3,900 千円						
	, ,	- H III		2.	0,000 111						

	务事業 Iード	761410	事務 事業名	河川維持	管理事業				<u>担当制建設部</u> 担当課 土木課
2	平価の語	部 <see></see>				評価			評価理由
	政策	<b>東体系との</b> 翌	合性		_ (+)				流の水を速やかに下流に流す必要があることから、堤防陥没・
Α		の事務事業の 本シートの結!			■ 結びつ □ 見直す				ト規模な被災箇所の修繕・補修を行うことは、防災対策の推進 、安全性が確保されることに結びつく。
目		本シートの語: <b>共関与の妥当</b>		,//3 :	□兄旦9	が安か	<u> </u>	(= 3.6% ).	XTITY MENICASSICIONS OF 10
的		の事業をなぜで		ればならない	■ 妥当で	である			共施設の維持管理を行う義務があり、堤防陥没・浸食 模な被災箇所を修繕・補修することで、防災対策の推
妥当	のカ • #4	ゝ? 金を投入して、	達成する日白	ki	□ 見直す	「必要が	ある		がるため、市が関与することは妥当である。
性		歌を取べると、		1977 :	■ 適切て	である		real at ye	
評価					□ 対象を	見直す	必要がある		・・浸食等の小規模な被災箇所を整備することで、大規 防止につながることから、現状の対象・意図を見直す
ІЩ	•对	象や意図を限	:定义は追加す	「べきか?			必要がある	必要はな	\\`.
	成	果の向上余り	t			-70 <u>-</u> 27	22700		
	_4_	H 18/1= 0.70.10	(+++ +	1.346-2	■向上分				・浸食等の被災箇所を小規模な段階で最小必要限度
		果指標の現状 せることができ		水準まで回	,		が出ている)		補修・修繕を行っている。これらは、防災対策の推進り、危険箇所の整備になることから成果が出ている。
В		. /I .I o -B			□ 向上分	ド地かめ	<b>ర</b>		
有	,,,	上・休止の成			■ 影響力	バあス			jの陥没・決壊などの被災箇所において、修繕・補修を
効		務事業を廃止 な影響があるた		場合にどの	□影響が			廃止・休」 招く恐れた	上することは二次災害に繋がり、冠水・浸水被害などをがある
性 評				ΛΞΤ <b>ά</b> Κ₩		1.401		10 (10,40)	
価		<b>以事業との統</b> 的を達成する			■ 他に手	=段がな	l I		(他に手段がある場合の事務事業名等)
	外の	)手段はないか	3.5		□ 他に手				
		似事業との統 果の向上が期		図ることによ			:ハ □ 連携		
		<b>集費の削減</b> 系	<b>全地</b>			合できる	□ 連携	(ਰਿਨ)	
С	·成	果を下げずに	事業費を削減		■ 削減分	除地がな	l I		限度内での修繕や補修であるため、事業費の削減余
効	か? ど)	(仕様や工法	の週上化、仕	:氏の協力な	□ 削減分	除地があ	る	地はない。	0
率		牛費(延べ業	•		- 1/11			#エのた	よって市連建営 田田化道は 聯旦が担いようとした
性評		り方を工夫して 引減できないか		糸る業務時間	■ 削減分	き地がな	<b>L1</b>		めの工事費積算・現場指導は、職員が担当することにらは市職員でなければ対応できない業務となるため
価	•成	果を下げずに		応や委託を	□ 削減分	除地があ	<b>వ</b>	削減はで	きない。
D		ないか? <b>益機会・費用</b>	負担の適正	化全地					
公平		<b>単版ム 美</b> /10 業の内容が一			■ 公平・	公正でま	5 <b>3</b>	公共施設	(河川)の整備であり、受益者が特定できないし一部
性評		公平ではないか 益者負担が公		T1 72 0	  □ 見直す	必要が	ある	の住民に	限られるものでもない。
価						/2\ <b>^</b>	<b>开松长/</b> 生	11°E11 E	: / ia
総		欠評価者(課			/ 亜 4/ ナ っ	(2)至	体総括(振	リ返り、反	(有点)
MC)		目的妥当性	■適切	□ 見直す必					
+==	-	可効性 加率性	<ul><li>■ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>	□ 見直す必		この事	業は、政策	体系に沿っ	て適切に実施されている。
括		ルギュ ママ性	■適切	<ul><li>□ 見直す必</li><li>□ 見直す必</li></ul>					
		STEE 方向性 <pl <="" th=""><th></th><th>□ 兄且り火</th><th>みをいめる</th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>		□ 兄且り火	みをいめる				
_		果にもとづく		件			(2)糜止5	な休止す	けべきとした場合の理由
( )	□ 廃」			<u></u> ·当性①②、有	効性⑤の約	吉果]	(-),00		
	□ 休」	Ł	[目的妥	·当性①②、有	効性⑤の約	吉果]			
		的再設定	= :	的妥当性①③					
		Ě統合∙連携 カ性改善(成集	=	効性⑥の結果 効性@の結果	·=				
		が生改善(成集     怪改善(コス							
		F性改善(3人 F性改善		平性⑨の結果					
	■ 現場	犬維持·継続	⇒(3)具体的	りな改善計画に	は不要				
		<u> </u>							
		な改善計画		(1) <b>のチェック</b> 担待さわる対					
	<del>+</del>	年度の取組の	か (城安火い)	別付けて11の次	<del>大</del>	十八	23年反に非	メリ組むへ	ミラス は
1									

評価対象	年度	平成 2	:1 <b>年度</b>	事 務 事	業 評	価 表	<一般用	>				様式1
事務事		7614	事 務 事業名	県単急傾斜	地崩壊対策	<del></del>			担 担		■ 建設部 ■ 土木課	
政策	名	1	快適で魅力を	あるまちづくり					グ	ルーコ	プ河川港湾グ	ループ
施策	名	4	防災対策の持	<b>性進</b>					電	話番号	<del>\$</del> 45-5111	
基本事業	業名	2	災害危険箇所	折の整備					内	線番号	<del>3</del> 2781, 278	32
	会計	一般	<b>设会計</b>			串来	□ 単年度	を のみ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し				
予	款	8	土木費			事業期間	■ 単年度	[繰返 (	(開始年度	<b>E</b> S 6	3 年度~)	
算 科	項	3	河川費			7/131-3	□ 期間限	定複数	牧年度(		- )	
目	目	1	河川管理費			根拠法令 鹿児島県県単急傾斜地崩壊対策事業補助金要綱						
	コード	7614	412			条例等	庇兀	化面景景平芯 医科坦朋级对果 争未怕功 並安神				
関連計	画											
1.現状把	9握	(1)	務事業の目的と	と指標 < Do	>							
手段	人(事系	務事業の	の概要)						平成2	1年度実統	<b>漬</b>	
どの対策工 1. 傾斜度:	急傾斜地崩壊危険箇所において、土砂災害から住民の財産・生命の保護を図るため、防災工事などの対策工事を実施する。 1. 傾斜度30度以上 2. 高さ5m以上										ŀエ	

#### 3. 人家5戸以上(5戸未満でも、官公署、災害時要援護者関連施設、学校、旅館等のある箇所を含 活 平成22年度計画 む) 国分・山元地区 法面工、防護柵工 溝辺·宮川内6地区 法面工、防護柵工 20年度 21年度 22年度 23年度 活動指標(事務事業の活動量) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) 工事箇所数 箇所 2 ゥ (誰、何を 21年度 22年度 23年度 20年度 (③対象の大きさを 対象指標 単位 対 対象にしているのか) 表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 急傾斜地危険箇所の防護区域内 ア 世帯数 戸 3,699 3,699 3,699 3,699 の住民 1 IJ 危険箇所数 箇所 633 633 633 633 ゥ 20年度 21年度 22年度 23年度 (⑤意図の 意 図 成果指標 単位 どうしたいのか) 達成度を表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 土砂災害から住民の生命、財産を 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合= % 31 32 32 33 工事進捗率 ウ 21年度 23年度 (どんな結果に (⑦結果の達成度 20年度 22年度 結 果 上位成果指標 単位 結び付けるのか) を表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合 安全性が確保される % 31.0 31.1 32.0 32.5=工事進捗率(砂防関係) (2)事業費 単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業は、いつ頃、どのような 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 22年度 21年度 きっかけで開始されたのか? は5年前と比べてどう変わったのか? (決算) (予算) 急傾斜地崩壊危険箇所に指定され、県単急傾 県補助金が年々縮小されており、工事完成までに期 当初予算額 20,500 24,000 斜地崩壊対策事業の採択要件を満たしている 間を要するようになった。 補正予算額 算 -4,500地区で、土砂災害から住民の安全確保を図る ため、昭和63年から事業導入を行ったもので 額 予算合計 19,500 20,500 ある。 国庫補助金 0 この事務事業に対して誰からどんな意 この事務事業に対する議会から出された 見や要望が寄せられているか? 意見 県支出金 9,750 住民からは、早期完成の要望がなされている。 住民の生命・財産の保全に関する事業であるため、 地方債 0 要望箇所への早めの事業導入が求められている。 算 その他 0 額 -般財源 9,750 支出合計 19,500

	务事業 ード	761412	事 務事業名	事 務 事業名 県単急傾斜地崩壊対策事業						担当部     建設部       担当課     土木課				
				平成21年度 (i	決算)	平成2	2年度 (当初	D予算)		23年度 (見	 [込)			
		単位∶千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計			
1	報	酬												
2	給	料												
3	職員	. 手 当 等												
4	共	済 費												
7	賃	金												
8	報	償 費												
9	旅	費												
10	交	際費												
11	需	用費												
	消													
	燃金	料費												
	食口	料費												
		熱 水 費	1											
	修	然 小 負 繕 料	1											
		が音 个十												
12	役	務費	1											
		信運搬費	1											
	広	告 料												
	手	数料												
	保	険 料												
13	委	託 料		1,680	1,680									
14		料及び賃借料												
15		請 負 費		17,820	17,820		20,500	20,500		20,000	20,000			
16		材 料 費												
17		財産購入費												
18		購入費												
19		補助·交付金												
20	<u>扶</u> 貸	<u>助</u> 費												
22		<u>・                                    </u>												
23		利子·割引料												
24		及び出資金												
25	積	立 金												
26	寄	附 金												
27	公	課費												
28	繰	出 金												
		計		19,500	19,500		20,500	20,500		20,000	20,000			
		国	<u> </u>	_				4						
	+11-	県	<u> </u>	9,750	9,750		10,250	10,250		10,000	10,000			
	地辺	方	1											
財源	過	<u>地債</u> 疎 債	1											
次		併特例債												
訳		אן ניו ניו וע	1											
	そ	の他												
		般 財源	1	9,750	9,750		10,250	10,250		10,000	10,000			
		計		19,500			20,500	20,500		20,000	20,000			
ż	浦助率	国		_						_				
				1/2			1/2			1/2				
補		基本額		19,500			20,500		10 - 1 -	20,000				
平		初 予 算	1		24,000 千円		平成 21 年	F度 財源内	訳の「その他	」の内訳				
成		E 予算	<del> </del>		-4,500 千円									
21	第1 第2		1	第5回第6回	(3月) 🛕	4,500	<b>会</b> 加弗华	の事業宇佐	のための収え	λ ≅ἄρΑ				
年	第 3		1	第7回	(3月) ▲	4,000	<b>沙川</b> 貞寺	ツ 尹耒夫虺	リノにめりりり以入	(前ル州				
度	第 4			第8回										
	予 第				19,500 千円									
	J +	- H III			10,000     1									

	務事業 ]ード	761412	│ 事 務 │ 事業名	県単急傾	斜地崩壊対	題。 別 り お り お お お お お お お お も も も も も も も も も					【建設部 【土木課	
2	2 評価の部 <see></see>					評価		担当課 土木課 評価理由				
Α	<b>政</b> 5	<b>東体系との</b> の事務事業の 本シートの結	<b>を合性</b> 目的は基本事		■ 結びつ				た険箇所における土砂災割 市の役割であり、防災対策			
目的妥当	・このか	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?			<ul><li>■ 妥当である</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>			急傾斜地崩壊の恐れのある災害危険箇所において、土砂災害から住民の生命・財産を守るために対策工事をおこなうことは、 市の義務であり妥当性がある。				
性評価		対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?			■ 適切である  対象を見直す必要がある  意図を見直す必要がある			から、対象・意図は適切である。				
В	•成	成果の向上余地  ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?			<ul><li>□ 息囚を兄員す必要がある</li><li>□ 向上余地はない (十分に成果が出ている)</li><li>□ 向上余地がある</li></ul>				の崩壊箇所の防 少し安全性の確		行うことで、急傾斜地危険 れる。	
有効性が	•事	<b>止・休止の成</b> 務事業を廃止 な影響がある	:又は休止した		■ 影響が □ 影響が			急傾斜地の崩壊危険箇所は数多く存在しているため、廃止・休止すると災害危険箇所の整備がなされないことになり、安全性の確保が図れなくなる。				
評価	• <b>目</b>	<b>以事業との級</b> 的を達成する	ためには、この		□他に手			(他に手段がある場合の事務事業 治山事業等(林務水産課)				
	•類	の手段はないだ 似事業との統 は果の向上が其	廃合や連携を				ハ ■ 連携	接できない 採択基準や事業の目的が違		が違うため連携できない。		
C 効	・成 か? ど)	<b>業費の削減</b> 第 課を下げずに ? (仕様や工法	事業費を削減 まの適正化、住	民の協力な	■ 削減余			標準工法	による整備が原見	則であるた	こめ削減は難しい。	
率性評価	・や を肖 ・成	<b>件費(延べ業</b> り方を工夫し 削減できないか :果を下げずに ないか?	て事務事業に	係る業務時間	■ 削減余地がない		用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や工事費積算・現場指導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなければ対応できない業務となるため、削減はできない。					
D公平性評価	・事 不2	<b>益機会・費用</b> 業の内容が− 公平ではないないないないな 益者負担が公	-部の受益者にか?	に偏っていて	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			実施箇所の住民が受益対象となるため、受益者負担の是非の 協議が必要かもしれない。しかしながら、市内には危険箇所も 多く、また、県営事業の採択基準に該当しない箇所を本事業で 行うことになるが、県営事業には受益者負担金が伴わないこと から、本事業でも同様の扱いで、負担金を徴収していない。				
総	ΑĘ	<b>次評価者(課</b> 目的妥当性 自効性	<b>長)としての</b> ■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必		(2) <b>全(</b>	本総括(振	り返り、反	省点)			
括	СŻ	动率性 公平性	<ul><li>適切</li><li>適切</li></ul>		必要がある	この事	業は、施策化	本系に沿っ	て適切に実施さ	れている。		
		方向性 < PL		141	<u> </u>							
(1)	院」 院 休」 日 事有效 日 公 公	上 内再設定 業統合・連携 动性改善(成界 率性改善(コス 平性改善	[目的妥 [目的妥 [目 [有 <b>[向上</b> ) [有 <b>『内上</b> ) [如 <b>『</b> <b>八間減</b> ) [公	性 当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	効性⑤の結 ()の結果] (- (- (- (- (- (- (- (- (- (- (- (- (-	·果]	(2)廃止》	(IZTALE 9	「べきとした場合	音の埋田		
		な <b>改善計画</b> 年度の取組		(1) <b>のチェック</b> 期待される対					<b>のか</b> き具体的な内	容		

							*****	10 107 110							
事務		761	414	事 務 事業名	総合治水対策	<b>货事業</b>					担担	当当		建設部 土木課	
政策	名	1	快i	適で魅力	あるまちづくり						グ	ルー	- プ	河川港湾	グループ
施策	施策名 4 防災対策の推進										電	話霍	号	45-5111	
基本事	業名	6	治	水対策の	推進						内	線番	号	2781、27	82
	会計	<b>—</b> ∮	般会計	<b>†</b>			事業	平成	16	年度	~	平成		年度	
予 算 科 目	款	8	土	木費			期間	T-13%	10	十尺		-1.1X		十反	
早 科	項	3	河川	費			担地法人								
目	目	1	河川	管理費			根拠法令· 条例等								
	コード	761	1414				27(175								
関連語	計画						<u> </u>								

事業開始の理由及び事業の概要

国分市街地及び国分、隼人地区の天降川流域周辺部で、豪雨時に発生している床上・床下浸水並びに道路が冠水するなどの被害を低減するために、排水施設の新設・改良、貯留施設の整備などによる対策工事を行うものである。平成16年度は、国分地区の基本構想および基本計画の作成、17年度~20年度にかけて国分中央ブロックの実施計画、測量調査、基本設計及び一部の実施設計を行っている。隼人地区については、18年度~20年度にかけて基本計画、実施計画、基本設計を作成済みである。

平成21年度に国分府中地区の排水路の改良工事が完了し、隼人姫城地区の 実施設計を作成する。平成22年度以降は、国分中央ブロック、隼人の東郷及 び姫城の排水対策工事や排水施設の詳細設計に着手する予定である。

事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記) **事業に対する議会から出された意見** 住民より早急な浸水解消の要望が寄せ 早急な実施を望む意見が多い。

 対象 (誰、何を対象にしているのか)
 意図 (対象をどうしたいのか)
 結果 (どんな結果に結びつけるのか)

 ア 浸水被害を受けると予想される住民と地域
 豪雨時における浸水被害の低減が図られる
 水害の被害が軽減される

 イ 治水対策が必要な箇所

られている。

<b>全体計画</b> ( H 16 ~ ) 世帯数 1,579世帯	平成20年度までの・実施状況 総合治水対策事業基本計画策定	平成21年度 実績 H20繰越 事業費C=49,650千円	平成22年度 計画 H21繰越 事業費C=31,000千円
整備計画箇所 5箇所 要整備延長(L=2920m)	総合治水対策事業実施計画策定総合治水対策東郷·姫城基本測量設計中央四丁目地区水路調査測量設計総合治水対策(排水機場)構想設計府中地区排水路改良工事(函渠工 L=32m)	府中地区排水路改良工事 L=139.3m(W=2.00m) 中央四丁目地区水路詳細設計 総合治水事業河川事前協議資料作 成	中央四丁目排水路改良工事 L=206m(W=1.00m) 排水路実施設計(府中地区) 排水路実施設計(東郷地区)
平成23年度 計画	平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度以降 計画
	111		可四

(2)事業費 単位:千円

	全体計画		
(	H 16 ~	)	
	単独	補助	合計
国		55,800	55,800
県			
地 方 債	1,709,100		
辺 地 債			
過 疎 債			
合併特例債	1,709,100		1,709,100
その他		·	
一般財源	128,935	24,850	153,785
計	1,838,035	80,650	1,918,685

			単作	位:千円
	H 21年度	H 22年度	前年度	比較
_	決算 (A)	計画 (B)	(B)-(	(A)
当初予算額	9,500	31,200	21,700	228% 増
補正予算額	24,900			
予 算 合 計	34,400	31,200	<b>▲</b> 3,200	9% 減
国庫補助金	23,800		<b>▲</b> 23,800	100% 減
県 支 出 金				
地 方 債		29,600	29,600	増
そ の 他				
一般財源	10,560	1,600	▲ 8,960	85% 減
支 出 合 計	34,360	31,200	<b>▲</b> 3,160	9% 減

	多事業 ード	761414	事業名	総合治水対策事業		担当課土木課
2 🗊	平価の部	S < SEE :	>		評価	評価理由
	A 目的妥当性		<b>政策体系と</b> この事業の 本シートの結	目的は基本事業の意図(基果)に結びつくか?	■ 結びついている	
	評価		ないのか? 税金を投入	なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要があ	公共施設である道路の冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、また、地域住民を浸水被害から守るため、市が関与することは妥当である。
D -	左カカル┼≐		<b>目標達成度</b> 整備目標に でいるか?	対して事業は順調に進ん	■ 順調に進捗して □ 遅れている	113 計画どおり順調に、事業進捗が図られている。
В	B 有効性評価			<b>D成果への影響</b> 廃止又は休止した場合にど があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	浸水被害が見られる地域の周辺部の農地の宅地 化が進み、遊水地が減少する状況の中で、廃止・ 中止することは被害がさらに拡大する恐れがある。
c <del>;</del>	C 効率性評価			<b>減余地</b> ずに事業費を削減できない 工法の適正化、住民の協	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	. 1111 1111 1111 1111 1111 1111
C 5			人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?		<b>■</b> 削減余地がない □ 削減余地がある	
D 2	公平性記	平価・		#用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って はないか?	■ 公平・公正である	11、水青から住民を守るだめり、発伸じめり、一部の
	(1)1	次評価者	(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り返り	り、反省点)
総括	A 目的 B 有郊 C 効理 D 公理	率性	■適切	<ul><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>	ある。実施には多額の事業	き生していることから早急に整備しなければならない事業で き費を必要とすることから、施設を設置する場合は可能な限 用し、施策に基づき事業を行う。
3 4	後の方	i向性 <pi< td=""><td>LAN &gt;</td><td></td><td></td><td></td></pi<>	LAN >			
(1)	評価結		く今後の方		(2)具体的な改善計画	(又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
	] 公平性	[ :改善 :改善(コス :改善	目的妥当性( <b>卜削減</b> )	D②、有効性④の結果] D②、有効性④の結果] [有効性③④の結果] [効率⑤⑥の結果] [公平性⑦の結果] な改善計画は不要		